

## 第1回定時株主総会招集ご通知に際しての 法令および定款に基づくインターネット開示事項

- 連結計算書類の連結注記表 … 1 ～ 6ページ
- 計算書類の個別注記表 … 7 ～ 10ページ

## 連結注記表

(連結計算書類作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 14社

国内連結子会社 6社

(株)ノエビア

(株)ボナンザ

(株)ノエビアツーリスト

(株)ノエビアアビエーション

常盤薬品工業(株) その他1社

(株)ノエビアツーリストは2011年8月20日をもって解散し、現在清算中であります。

在外連結子会社 8社

ノエビア ホールディング オブ アメリカ インク

ノエビア ユーエスエー インク

ノエビア カナダ インク

ノエビア アビエーション インク

ノエビア ヨーロッパ エスアールエル

台湾蘭碧兒股份有限公司

上海諾薇雅国際貿易有限公司

上海諾依薇雅商貿有限公司

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用会社はありません。

(2) 持分法を適用していない関連会社はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

(1) 国内連結子会社のうち、常盤薬品工業(株)他1社の決算日は6月30日であり、それ以外の国内連結子会社の決算日は9月20日であります。

在外連結子会社のうち、上海諾薇雅国際貿易有限公司、上海諾依薇雅商貿有限公司及びノエビア ヨーロッパ エスアールエルは決算日が12月31日であり、それ以外の在外連結子会社の決算日は6月30日であります。

決算日が9月20日の連結子会社については9月20日現在の財務諸表を使用しており、それ以外の連結子会社については6月30日現在の財務諸表を使用しております。

(2) 連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他有価証券

時価のあるもの……………連結決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの……………移動平均法による原価法

②デリバティブ

時価法

③たな卸資産

商品・製品・仕掛品……………総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

原材料……………移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

貯蔵品……………最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)……………定率法

ただし、在外連結子会社8社は定額法によっております。  
なお、主な耐用年数は、建物及び構築物が6年～50年、機械装置及び運搬具が2年～8年であります。

②無形固定資産(リース資産を除く)……………定額法

なお、主な耐用年数は、自社利用ソフトウェア5年であります。

③リース資産……………所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用  
しております。なお、リース取引開始日が企業会計基準第13号  
「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース  
取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計  
処理によっております。

(3) 重要な繰延資産の処理方法

創立費……………支出時に全額費用処理しております。

(4) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸  
倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別  
に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金……………一部の子会社については、従業員の賞与の支払に充てるため、  
当連結会計年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③返品調整引当金……………一部の子会社については、売上高と戻り高の期間対応関係を  
明確にするため、将来の返品に伴う損失予想額を計上しており  
ます。

④退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における  
退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当連結会計年  
度において発生していると認められる額を計上しております。  
数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期  
間以内の一定の年数(5～10年)による定額法により、発生翌  
連結会計年度から費用処理することとしております。

(5) のれんの償却に関する事項

のれんの償却については、5年間の均等償却を行っております。

(6) 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜き処理によっております。

5. 連結計算書類作成のための基本となる重要な事項の変更

(1) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号2008年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第21号2008年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益は、それぞれ16,400千円減少しております。

(2) 「企業結合に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2008年12月16日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号2008年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号2008年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号2008年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号2008年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2008年12月26日)を適用しております。

(連結貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 25,272,679千円

2. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

トキワ配置薬ローン	8,605千円
(株)フォーユーメディカル	590千円
合計	<u>9,195千円</u>

(連結損益計算書に関する注記)

災害損失修正額

連結子会社における2011年3月11日に発生した東日本大震災による損失額の見積り差額であります。

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当連結会計年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式 41,322,860株

2. 当連結会計年度の末日における自己株式の総数  
普通株式 20株

3. 当連結会計年度中に行った剰余金の配当に関する事項  
該当事項はありません。

4. 当連結会計年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2011年11月11日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,487,622	36.00	2011年9月30日	2011年12月12日

(退職給付に関する注記)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社及び国内連結子会社5社は、確定給付型の制度として企業年金制度及び退職一時金制度を設けております。その他の国内連結子会社1社は確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務に関する事項

イ. 退職給付債務 9,687,500 千円  
ロ. 年金資産残高 4,030,546 千円  
ハ. 未認識数理計算上の差異 463,458 千円  
ニ. 退職給付引当金(イ-ロ-ハ) 5,193,496 千円

3. 退職給付費用に関する事項

イ. 勤務費用 287,347 千円  
ロ. 利息費用 100,404 千円  
ハ. 期待運用収益(減算) 34,664 千円  
ニ. 数理計算上の差異の償却額 118,788 千円  
ホ. 臨時に支払った割増退職金等 77,501 千円  
ヘ. 退職給付費用(イ+ロ-ハ+ニ+ホ) 549,378 千円

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

イ. 退職給付見込額の期間配分方法 期間定額基準  
ロ. 割引率 2.00%  
ハ. 期待運用収益率 1.67%  
ニ. 数理計算上の差異の処理年数 5~10年

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
退職給付引当金	2,113,347 千円
たな卸資産	567,273 千円
返品調整引当金	419,921 千円
固定資産	314,500 千円
賞与引当金	132,302 千円
未払事業税	62,447 千円
貸倒引当金	60,081 千円
会員権	55,617 千円
繰越欠損金	24,371 千円
投資有価証券	18,652 千円
その他	464,883 千円
繰延税金資産小計	4,233,401 千円
評価性引当額	△212,661 千円
繰延税金資産計	4,020,739 千円
繰延税金負債	
固定資産	△100,746 千円
その他有価証券評価差額金	△15,807 千円
貸倒引当金	△4,845 千円
固定資産圧縮積立金	△220 千円
その他	△6,769 千円
繰延税金負債計	△128,389 千円
繰延税金資産の純額	3,892,350 千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率	40.6%
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	3.8%
住民税均等割	3.1%
留保金課税額	15.3%
税額控除	△2.8%
その他	0.5%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	60.5%

### (金融商品に関する注記)

#### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社グループは、資金運用については短期的な預金等を中心に運用を行っております。受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券の上場株式については四半期ごとに時価の把握を行っております。

#### 2. 金融商品の時価等に関する事項

当連結会計年度の末日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	連結貸借対照表計上額(*)	時価(*)	差額
(1)現金及び預金	38,674,720	38,674,720	—
(2)受取手形及び売掛金	10,579,759	10,577,764	△1,994
(3)未収入金	2,698,721	2,698,721	—
(4)投資有価証券 その他有価証券	407,726	407,726	—
(5)支払手形及び買掛金	(4,339,797)	(4,339,797)	—
(6)未払金	(3,280,105)	(3,280,105)	—
(7)未払法人税等	(781,103)	(781,103)	—

(\*)負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

#### (注1) 金融商品の時価の算定方法

##### (1)現金及び預金、(3)未収入金、(5)支払手形及び買掛金、(6)未払金、(7)未払法人税等

これらは短期間で決済又は返済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (2)受取手形及び売掛金

受取手形及び売掛金の時価については、期末日より決済期日が1年超の受取手形は信用リスクを織り込んで満期までの期間に対応するリスクフリーレートにより割引いて算出する方法によっており、1年以内の受取手形及び売掛金は短期間で決済されるため、当該帳簿価額によっております。

##### (4)投資有価証券

投資有価証券の時価については、取引所の価格によっております。

#### (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

##### ①長期預り保証金

長期預り保証金(連結貸借対照表計上額18,446,472千円)については無金利の営業保証金であり、期限の定めがないことにより、返還見込み年数が特定できず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記表には含めておりません。

##### ②非上場株式

非上場株式(連結貸借対照表計上額18,805千円)は、市場価額がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記表には含めておりません。

(1株当たり情報に関する注記)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 1株当たり純資産額  | 1,248円02銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 14円88銭    |

(企業結合・事業分離に関する注記)

共通支配下の取引等

(単独株式移転による当社の設立)

2010年10月29日開催の株式会社ノエビア取締役会及び2010年12月8日開催の株式会社ノエビア定時株主総会において、単独株式移転により当社「株式会社ノエビアホールディングス」を設立することを決議し、2011年3月22日に設立いたしました。

1. 結合当事企業の名称及びその事業の内容等

(1) 結合当事企業の名称

株式会社ノエビア

(2) 事業の内容

化粧品・トイレタリー・栄養補助食品の製造販売並びに化粧雑貨の販売

(3) 企業結合日

2011年3月22日

(4) 企業結合の法的形式

単独株式移転による当社の設立

(5) 結合後企業の名称

株式会社ノエビアホールディングス

(6) 企業結合の目的

①グループ企業価値の最大化

グループ経営を行う組織と、事業推進を行う組織を、明確に分離することにより、化粧品事業、医薬品事業、食品事業、その他の事業の独自性、専門性を発揮し、取り巻く環境の変化に柔軟かつスピードをもって対応する全体最適の経営を行い、グループ企業価値の最大化を目指します。

②コーポレート・ガバナンスの強化

当社が行う評価・モニタリングにより、グループの内部牽制機能をさらに進めて、グループ全体におけるコーポレート・ガバナンスの強化を図ってまいります。それにより、グループ経営の透明性を高め、社会的責任を果たしてまいります。

③グループ戦略機能の強化

当社主導により、グループ内の事業・組織再編や業務・資本提携、M&Aなどを、柔軟かつ機動的に行うことで、経営環境の変化に迅速に対応してまいります。それにより、国内外の各市場における競争力をより一層強化し、グループ事業の基盤強化や領域拡大も目指します。

2. 会計処理の概要

企業会計上の「共通支配下の取引」として処理いたしました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 個別注記表

### (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法  
有価証券の評価基準及び評価方法
  - ①子会社株式……………移動平均法による原価法
  - ②その他有価証券  
時価のあるもの……………決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
2. 重要な繰延資産の処理方法  
創立費……………支出時に全額費用処理しております。
3. 消費税及び地方消費税の会計処理  
税抜き処理によっております。

### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」等の適用  
当事業年度より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 2008 年 12 月 16 日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第 23 号 2008 年 12 月 26 日)「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 2008 年 12 月 26 日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 10 号 2008 年 12 月 26 日)を適用しております。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	5,314 千円
短期金銭債務	582,088 千円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業収益	7,965,769 千円
一般管理費	56,249 千円
営業取引以外の取引高	15,781 千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度の末日における自己株式の数

普通株式	20 株
------	------

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

投資有価証券	15,211 千円
未払事業税	3,126 千円
未払金	250 千円
その他	727 千円

繰延税金資産小計

19,315 千円

評価性引当額

△15,211 千円

繰延税金資産計

4,103 千円

繰延税金負債

その他有価証券評価差額金

△15,236 千円

繰延税金負債計

△15,236 千円

繰延税金負債の純額

△11,132 千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異原因となった主な項目別の内訳

法定実効税率

40.6%

(調整)

受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △40.5%

留保金課税額 4.5%

評価性引当額の増加 0.2%

その他 0.0%

税効果会計適用後の法人税等の負担率

4.8%

## (関連当事者との取引に関する注記)

(単位:千円)

種類	会社等の名称	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	(株)ノエビア	7,319,431	化粧品等の製造販売	直接 100%	経営管理及びそれに附帯する業務 役員の兼任 1名	経営管理料の受取※1	599,739	関係会社短期借入金 1年内返済予定の関係会社長期借入金 関係会社長期借入金	2,000,000 500,000 1,825,000
						資金の借入※2	5,075,000		
						借入金の返済	750,000		
						利息の支払※2	6,296		
子会社	常盤薬品工業(株)	4,301,265	医薬品等の製造販売	直接 100%	経営管理及びそれに附帯する業務 役員の兼任 1名	経営管理料の受取※1	458,797	関係会社短期貸付金 1年内回収予定の関係会社長期貸付金 関係会社長期貸付金	2,000,000 500,000 1,825,000
						資金の貸付※2	5,075,000		
						貸付金の回収	750,000		
						利息の受取※2	9,484		

上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

(注) ※1 経営管理料については、各子会社への役務提供割合に応じて費用負担額を決定しております。

※2 資金の借入及び貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、担保は提供しておらず受けてもおりません。

## (1株当たり情報に関する注記)

- 1株当たり純資産額 1,382円85銭
- 1株当たり当期純利益 160円26銭

## (企業結合・事業分離に関する注記)

共通支配下の取引等

## (単独株式移転による当社の設立)

2010年10月29日開催の株式会社ノエビア取締役会及び2010年12月8日開催の株式会社ノエビア定株主総会において、単独株式移転により当社「株式会社ノエビアホールディングス」を設立することを決議し、2011年3月22日に設立いたしました。

## 1. 結合当事企業の名称及びその事業の内容等

- (1) 結合当事企業の名称  
株式会社ノエビア
- (2) 事業の内容  
化粧品・トイレットリー・栄養補助食品の製造販売並びに化粧雑貨の販売
- (3) 企業結合日  
2011年3月22日
- (4) 企業結合の法的形式  
単独株式移転による当社の設立
- (5) 結合後企業の名称  
株式会社ノエビアホールディングス
- (6) 企業結合の目的

## ①グループ企業価値の最大化

グループ経営を行う組織と、事業推進を行う組織を、明確に分離することにより、化粧品事業、医薬品事業、食品事業、その他の事業の独自性、専門性を発揮し、取り巻く環境の変化に柔軟かつスピードをもって対応する全体最適の経営を行い、グループ企業価値の最大化を目指します。

## ②コーポレート・ガバナンスの強化

当社が行う評価・モニタリングにより、グループの内部牽制機能をさらに進めて、グループ全体におけるコーポレート・ガバナンスの強化を図ってまいります。それにより、グループ経営の透明性を高め、社会的責任を果たしてまいります。

## ③グループ戦略機能の強化

当社主導により、グループ内の事業・組織再編や業務・資本提携、M&Aなどを、柔軟かつ機動的に行うことで、経営環境の変化に迅速に対応してまいります。それにより、国内外の各市場における競争力をより一層強化し、グループ事業の基盤強化や領域拡大も目指します。

## 2. 会計処理の概要

企業会計上の「共通支配下の取引」として処理いたしました。

(現物配当による子会社の異動)

2011年6月23日開催の株式会社ノエビア取締役会および臨時株主総会において、剰余金の配当として株式会社ノエビア保有の子会社株式を当社に現物配当することを決議し、2011年6月30日に実施いたしました。これにより、株式会社ノエビアは子会社の異動が発生いたしました。

1. 現物配当(組織再編)の理由

当社グループは、2011年3月22日に持株会社体制へ移行し、当社グループの有する「ブランド力」「研究開発力」「生産技術力」「マーケティング力」等の経営資源を最大限に活用することにより、グループ企業価値の最大化を目指しております。

その取り組みの一環として、グループ企業を戦略的に再編し、企業力強化を図るために、株式会社ノエビア保有の子会社株式を当社に現物配当することを決議いたしました。

これにより、株式会社ノエビアの子会社3社(常盤薬品工業株式会社、株式会社ボナンザ、株式会社ノエビアアビエーション)は、当社の直接保有の子会社に該当することになりました。

2. 剰余金の配当について

株式会社ノエビアは、繰越利益剰余金および別途積立金を原資として、剰余金の配当(現物配当)を実施いたしました。

(1) 配当財産の種類および帳簿価額の総額

常盤薬品工業株式会社	普通株式	5,448,900 株	8,927,594 千円
株式会社ボナンザ	普通株式	200 株	10,000 千円
株式会社ノエビアアビエーション	普通株式	700 株	35,000 千円
合計			8,972,594 千円

(2) 配当財産の割り当てに関する事項

株式会社ノエビアの臨時株主総会開催時点において議決権割合の100%を有する株主である当社に対して、配当財産のすべてが割り当てられました。

(3) 剰余金の配当効力発生日

2011年6月30日(木)

3. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2008年12月26日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2008年12月26日)に基づき、現物配当により取得した当該子会社の株式については、これまで保有していた株式会社ノエビアの株式のうち相当する部分と実質的に引き換えられたものとみなして処理いたしました。

なおこれにより、損益に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。